

JAL の A350-1000 初号機、塗装を完了しロールアウト



塗装を終え工場からロールアウトした JAL の A350-1000

日本航空（JAL）の A350-1000 初号機がこのほど塗装を完了し、仏トゥールーズの塗装工場からロールアウトしました。

JAL は 2023 年冬期ダイヤ中に国際線の新たなフラッグシップとして A350-1000 を羽田 - ニューヨーク線に投入する予定です。環境効率の高い A350-1000 を導入することで、環境負荷低減に向

けた取り組みをさらに強化します。

JAL は合計 13 機の A350-1000 を発注しています。また、現在 16 機の A350-900 が同社の国内主要路線で運航されています。

A350 は空の旅の未来を形作る最新鋭のワイドボディ機です。最先端の空力設計、炭素繊維複合材を使用した胴体と主翼、新型のロールス・ロイスエ

ンジン装備し、最先端技術を採用することで高いレベルの運航効率性を実現。燃費向上とともに、CO₂ 排出量を 25%削減しています。

contents

JAL の A350-1000 初号機、
塗装を完了しロールアウト

2022 年度民間航空機部門の
受注数、納入数

エア・インディアが
エアバス機を 250 機発注

ルフトハンザ、A350-1000 を 10 機と
A350-900 を 5 機発注

エールフランス-KLM、
最新鋭貨物機 A350F を 4 機発注

A321neo、
SAF100%で飛行試験を実施



JAL の国際線の新たなフラッグシップとなる A350-1000

2022 年度民間航空機部門の受注数、納入数



2022 年度末時点で受注残は 7,239 機にのぼる

エアバスは 2022 年度に民間航空機を 84 社へ 661* 機納入し、1,078 機の総受注数を獲得しました。2022 年 12 月末時点で受注残は 7,239 機にのぼります。

エアバスのギヨム・フォーリ CEO は次のように述べています。「2022 年度は前年度納入数に比べて 8% 増加した 661 機を 84 社に納入することができました。目標にしていた数より少ないのは明らかで

すが、複雑なビジネス環境の現状を考慮すれば、この素晴らしい成果をもたらし、力を尽くしてくれたエアバスのチームとパートナー企業に心から感謝を申し上げたいと思います。また、貨物機を含むエアバス機ファミリー全機種に対して多くの受注を獲得することができ、我が社の製品の高い競争力が裏付けられました。私たちは引き続き、受注残の引き渡しを促進すべく生産数の増加に取り組んでいき

ます」

2022 年度の納入内訳は以下のとおりです。

	2022	2021
A220 ファミリー	53	50
A320 ファミリー	516	483
A330 ファミリー	32	18
A350 ファミリー	60*	55
A380	—	5
合計	661*	611

* 2021 年 12 月に受注した 2 機（アエロフロートの A350-900）が国際的な対ロシア制裁のため納入不可能となり、その 2 機分を差し引いた数。

エアバスはすべての機種および市場において幅広く受注を獲得し、世界大手の航空会社数社からの大型受注を含む合計 1,078 機の総受注（キャンセル分を差し引いた純受注は 820 機）を得ています。機数ベースでは出荷受注比率が 1 を大幅に上回りました。

総受注をプログラム別で見ると、A220 は 127 機、A320neo ファミリーは 888 機の受注を獲得。ワイドボディ機では合計 63 機の受注を得ました。その内訳は A330 が 19 機、A350 が 44 機でそのうち 24 機は貨物機の A350F です。

エア・インドゥアがエアバス機を 250 機発注

タタ・グループ傘下のエア・インドゥアが、エアバス機を合計 250 機発注するコミットメントを発表しました。これにより同社の国内および国際路線サービスを拡充します。250 機の内訳は A320neo が 140 機、A321neo が 70 機、A350-1000 が 34 機、A350-900 が 6 機。インド市場で初の導入となる最新鋭長距離型 A350 によってインド航空業界の新たな時代の幕を開きます。

エア・インドゥアは今回発注したエアバス機によって保有する機材を更新、拡充し、より大型でフルサービスを提供する機体によって増加する航空輸送需要に対応します。導入する航空機の引き渡しはまず A350-900 が最初で 2023 年後半の予定です。

今後インドの人口は世界最大になり、経済は G20 諸国の中で最も急速に拡大し、急増する中産階級が航空旅行により多く支出することが見込まれ

ます。その結果、A350 の運航に適した米国、欧州、アジア太平洋地域への長距離路線などインドの旅客輸送量は急速に増加するでしょう。



エアバス機を 250 機発注したエア・インドゥア

ルフトハンザ、A350-1000 を 10 機と A350-900 を 5 機発注

ルフトハンザグループが、保有機の拡大に A350-1000 を 10 機と A350-900 を 5 機発注する

契約を締結しました。この最新世代のワイドボディ機を導入することによって、同社は脱炭素化への取り組みに引き続き邁進します。A350 は旧世代機と比較して、燃料消費量、CO₂ 排出量を大幅に削減しています。最新の客室装備によって快適な機内環境を提供します。

今回の発注契約に加え、エアバスとルフトハンザは、持続可能性と将来技術の分野における協力をさらに強化するための覚書 (MOU) を結びました。これにより持続可能な航空燃料の使用の促進、より効率的な飛行管理による運航の最適化、水素の使用に向けた研究調査などで協力します。

ルフトハンザとエアバスは長年にわたり深いパートナーシップを築い

てきました。1970 年代に A300 を導入して以来、ルフトハンザは A220 から A320 ファミリー、A330

/ A340、A350、A380 までエアバス機ファミリーを全機種運航しています。



A350-1000 と A350-900 を発注したルフトハンザ

エールフランス -KLM、最新鋭貨物機 A350F を 4 機発注 マーティンエアの機材を更新

エールフランス -KLM が最新世代の貨物機 A350F を 4 機確定発注しました。発注された A350F はアムステルダム・スキポール空港を拠点

とする子会社のマーティンエア・ホランド NV が運航します。A350F によって経年貨物機の更新を行い、より持続可能な貨物機の運用を実現します。

世界最新の長距離型ファミリーの一機種として、A350F は旅客型の A350 と高い共通性を保持します。メインデッキに大型の貨物ドアを備え、胴体の

長さや容量は貨物輸送に最適化されています。機体の 70% 以上に最先端の材料を使用するため、離陸重量を 30 トン軽量化し、効率的なロールス・ロイス社製エンジンとあわせて、既存の競合機より燃費と排出量を少なくとも 20% 削減します。109 トンの積載能力を持ち (競合機より積載能力 3 トン、容量 11% 大きい)、あらゆる貨物市場に対応します。さらに、A350F は ICAO の新たな CO₂ 排出基準にも対応する新世代貨物機です。

2021 年にローンチした A350F は、これまでに 7 社から 35 機の受注を獲得しています。



最新貨物機 A350F

A321neo、SAF100%で飛行試験を実施

エアバスはこのほど、A321neoに持続可能な航空燃料（SAF）を100%使用して飛行試験を実施しました。

仏のトゥールーズで行われたこの飛行試験は、VOLCAN プロジェクトの一環で、同プロジェクトにはサフランとダッソー・アビエーション、フランス国立航空宇宙研究所（ONERA）、フランス運輸当局が参加しています。

今回の飛行試験には、CFM インターナショナル社の LEAP-1A エンジンを搭載した A321neo が使用されました。A321neo は両エンジンに SAF を 100% 使用して飛行した初のエアバス短通路型機となりました。A321neo のほかにこれまで

A350 と A330MRTT が両エンジンに SAF を 100% 使用して飛行試験を実施しています。



SAF100%で飛行試験を実施した A321neo

今回の重要な飛行試験データを収集するため、ドイツ航空宇宙センター（DLR）のダッソージェット

機を改造した「追跡機」を A321neo の 100 メートル以内に飛行させ、センサーを使って排出ガスのデータを取得、詳細な分析を行っています。

SAF を 100% 使用した際の性能および排出量（CO₂ および CO₂ 以外の排出ガス）の削減を分析することによって、航空産業の脱炭素化に向けた取り組みを促進します。

現在、エアバスのすべての民間機、軍用機、ヘリコプターが、最大 50% の SAF を混合して飛行することが可能です。エアバスは 2030 年までに 100% の SAF の使用を可能になることを目指しています。従来のジェット燃料に比べ、SAF の使用により排出量を最大 80% 削減できることが見込まれています。



SAF100%で飛行試験を実施した A350

2023年2月末時点の受注・引き渡し・運航機数

機種	総受注機数	総引き渡し機数	運航機数
A220 / A318 / A319 / A320 / A321	17,659機	10,998機	10,331機
A300 / A310	816機	816機	281機
A330 / A340	2,151機	1,939機	1,672機
A350	948機	524機	524機
A380	251機	251機	237機
合計	21,825機	14,528機	13,045機